

【教育委員会議事録】平成27年6月定例会

開催日時	平成27年6月23日(火) 10:00~11:11
開催場所	下関市上田中町庁舎 1階会議室
出席委員の氏名	波佐間 清(教育長) 吉井 克也(教育長職務代理者) 野口 裕子 藤井 悦子 林 俊作
欠席委員の氏名	欠席なし
委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名	教育部長 石津 幸紀生 教育部理事 肥塚 敬文 教育部理事 山路 康正 教育政策課長 三好 洋一 学校教育課長 森永 亮 教育指導監(教育研修室長) 澄川 忠男 学校支援課長 石田 朋彦 学校安全課長 藤岡 俊明 教育指導監(生徒指導推進室長) 岡崎 茂邦 生涯学習課長 古西 修一 文化財保護課長 町田 一仁 図書館政策課長 高原 祐二 美術館副館長 中村 美幸 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長 西村 敬教 下関商業高等学校事務長 和田 守正 菊川教育支所長 林 文男 豊田教育支所長 山尾 淳子 豊浦教育支所長 戸田 一仁 豊北教育支所長 西島 一明 教育政策課主幹 光吉 計志 教育政策課主査 岡本 誠也 教育政策課主任 殖木 章充
傍聴人の数	傍聴人なし

次第（目次）

【開会の宣告】	……………	P 3
【署名委員の指名】	……………	P 3
【教育長報告】	……………	P 3
【議案審議】		
議案第 4 7 号 下関市立高等学校評議員の委嘱について	……………	P 4
議案第 4 8 号 下関市いじめ重大事態調査委員会委員の委嘱について	……………	P 5
【報告事項】		
平成 2 7 年度こども文化パスポート事業について	……………	P 6
下関市子ども市議会の実施について	……………	P 7
下関市青少年補導委員の委嘱及び解嘱について	……………	P 10
世界スカウトジャンボリー下関市地域プログラムについて	……………	P 11
下関市生涯学習プラザの臨時休館について	……………	P 13
中央図書館の開館時間の変更について	……………	P 14
「ボンジュール！フランスの絵本たち」展開催について	……………	P 14
【その他】	……………	P 15
【閉会の宣告】	……………	P 18

【開会の宣告】

波佐間清（教育長）

それでは、皆さんおはようございます。6月の定例会を開催したいと思います。

【署名委員の指名】

波佐間清（教育長）

最初に本日の議事録の署名委員は、「吉井委員」と「林委員」をお願いいたします。よろしくお願いたします。

本日の日程は、「議案」が、追加1件と合わせて2件、日程2の「報告事項」が7件、日程3「その他」となっております。

【教育長報告】

波佐間清（教育長）

それでは議案の審議に入る前に、教育長報告としてお話をさせていただきたいと思います。

資料の2ページになります。まず、名池小学校、西市小学校が大臣表彰を受けて、6月4日市長応接室で市長に報告をいたしました。名池小学校は子どもの読書活動優秀実践校の文部科学大臣表彰、そして西市小学校は平成27年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰を受けました。そのことを子どもたちと一緒に報告にまいりました。名池小学校の文部科学大臣表彰は、学校司書も同席し、市長から読書活動の取り組みの素晴らしさのお話、そして西市小学校の環境大臣表彰は、ホテルの飼育活動に対しての表彰ということで日々の活動の様子も含めてお話がありました。大変お褒めの言葉をいただきました。

続きまして、J：COM下関「いきいき市民講座」についてであります。文化財保護課の学芸員もこれに出てお話をしたりしておりますが、町田部次長を通して、この講座に出演してみませんかという依頼があって、6月13日午後、J：COM下関に行って、2コマお話をさせていただきました。1コマ目は、今回の新しい教育委員会制度について、どういう改革が行われたのかということを中心に30分お話をさせていただきました。これの原案は山路理事に作っていただいていたパワーポイントを使って説明をしました。第1回総合教育会議の写真に教育委員もかなり出ておりますので、もし時間がありましたら見ていただければと思います。教育大綱を含めてこのような改革が行われて、今下関でやっておりますという話をいたしました。J：COM下関の方達が、「新教育長になられて新教育委員会制度をやっているところは、県下どこですか。」という話があって、「県下では萩市と下関市、あとは山口県の教育委員会の3つになります、それ以外はまだやっていません。」という話をすると、「意外と少ないですね。」と言われました。全国的にはどうかということで、2割弱しか全国的にまだ新教育長としてやっていないというお話をしましたところ、「非常に少ない。」と言われました。隣の広島県では半分以上が新教育長になってやっています。意識の違いもかなりあるのでしょうか。その辺りのこともお話をさせていただきました。それから2コマ目は、下関市の教育改革ということで、今教育委員会が取り組んでいる、特にソフト面。例えば、英語教育を今年からまた力を入れてやるということ、「いのちの日」のこと、未来塾の取組、そして今我々が取り組んでいる学力向上について話をしました。学力向上については、今年下関市はかなり上位に入ったみたいですね。悪かった時から比べると非常にいい成績になっています。今年の4月に行った成績はかなり良いようですので、また報告をしたいと思います。自己採点での成績ですので正確には出ておりませんが、正式な結果が8月末に出ますので、その時に報告をしたいと思います。

それから、6月20日土曜日、生涯学習プラザで「下関母のつどいの大会」がありました。私が講演をさせていただきました。時間は約1時間でしたが、お母さん方を中心にお話をさせていただきました。午後は、下関教育会の下関支部の大会があって、挨拶もしましたけれど、300人のお母さん方が来られて盛会でありました。

最後になりますが、市議会について、6月5日から6月22日まで議会がございました。文教厚生委員会が6月11日にございました。主にそこに書いております協議、陳情（吉母小学校の存続について）、それから報告が、教育センターの施設整備、専決処分（土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムの交通事故）、それから次期下関市立の適正規模・適正配置、この時間が、約30分1番多く時間をとって協議を、質問も大変多くありました。それから3ページになりますが、耐震化の事業の進捗状況について、それから世界スカウトジャンボリーのプログラム、長府警察署土居の内交番の移転、長府公民館駐車場の拡張について報告をしたところであります。また、一般質問も大変多くて、たくさんの方々が質問をされ、答弁をいたしました。主な質問内容は、教科書採択について、これは先ほど少しお話をしましたように色々なご質問がございました。それから、小中学校体育館のバリアフリー化について、中央図書館、豊浦図書館に導入している読書通帳について、小中学校の図書室への学校司書の配置について、跡地利用も含めた公共施設等総合管理計画について、学校教育施設の整備について、子どもの貧困について、空き公共施設の活用についての質問がございました。市議会も昨日で一応終わりました、我々としてはほっとしたところであります。教育長報告としては以上でございます。

何かご質問がありましたらお願いをいたします。よろしいですか。

（はい）

波佐間清（教育長）

それではないようですので、議事に入っていきます。

【議案審議】

議案第47号 下関市立高等学校評議員の委嘱について

波佐間清（教育長）

それでは、日程1の議案審議に入りたいと思います。「議案第47号 下関市立高等学校評議員の委嘱について」、学校教育課、お願いをいたします。

森永亮（学校教育課長）

「議案第47号 下関市立高等学校評議員の委嘱について」、ご説明をいたします。

資料は4ページでございます。このたび、下関商業高等学校校長から学校評議員の推薦書が提出されました。これを受け、下関市高等学校管理規則第27条第3項の規定に基づき、下関市学校評議委員の委嘱について議案を提出するものであります。

委嘱しようとする評議員につきましては表にありますように、板谷正、井上桂、藤永大二、平野貴昭、和田健資の5名であります。

任期につきましては、平成27年6月24日から、翌年28年3月31日までとなっております。以上ご審議のほどよろしくお願いいたします。

波佐間清（教育長）

何か、ご質問がございましたらお願いをいたします。

（ありません）

波佐間清（教育長）

全員新しい方ですか。

森永亮（学校教育課長）

そうです。

波佐間清（教育長）

はい。わかりました。特にございませんね。それでは、議案題47号について承認としてよろしいでしょうか。

（はい）

波佐間清（教育長）

はい。それでは、承認としたいと思います。よろしく願いをいたします。

【議案審議】

議案第48号 下関市いじめ重大事態調査委員会委員の委嘱について

波佐間清（教育長）

つづきまして、「議案第48号 下関市いじめ重大事態調査委員会委員の委嘱について」、学校安全課、お願いいたします。

岡崎茂邦（教育指導監（生徒指導推進室長））

「議案第48号 下関市いじめ重大事態調査委員会委員の委嘱について」、ご説明いたします。資料は5ページになります。

まず、下関市いじめ重大事態調査委員会について確認をさせていただきます。本年1月定例会において、「議案第5号 下関市附属機関設置条例の一部を改正する条例」として審議いただき、3月市議会で条例が成立し、4月1日から施行され本委員会が設置されることになりました。さらに、この委員会の組織運営にかかわる必要な事項を規則として、本年3月定例会において「議案第30号 下関市いじめ重大事態委員会規則」をご審議いただき、教育委員会規則第9号として定めていただきました。そこで、この規則第3条の規定に基づき、各専門領域の機関に委員の推薦を依頼し、ご推薦いただいた方を委員として委嘱したく、ここに提案するものです。

委嘱予定の委員について簡単にご説明いたします。法曹関係として下関市顧問弁護士の中谷正行様にご推薦をいただいた、みつい法律事務所弁護士 三井隆宏様、それから医療関係者として下関市医師会からご推薦いただいた、長門一の宮病院精神科医 横地光子様、学識経験者として山口大学教育学部長からご推薦いただいた、山口大学教育学部教授 福田修様、心理関係者として山口県臨床心理士会からご推薦いただいた、山口県臨床心理士会臨床心理士 小川昭様、学校関係者として下関市PTA連合会からご推薦いただいた、下関市PTA連合会会長 中野竜二様、以上の5名でございます。

なお、任期は平成27年7月1日から平成28年6月30日の1年間となっております。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

波佐間清（教育長）

学校安全課から説明がございました。何かご意見、ご質問がありましたらお願いをいたします。会議は定例的に開催するのでしょうか、何か起こった場合に開催するのでしょうか。

岡崎茂邦（教育指導監（生徒指導推進室長））

この会は、重大事態が起こった場合に調査をするということで、臨時的なものになるかと思えます。7月に関係者を一度お招きして、実際にどのようなものになるという手引きがございますので、手引きを中心に打ち合わせをしておきまして、そして重大事態が起こった時にはすぐに対応するという予定になっております。

波佐間清（教育長）

開催の予定はいつですか。

岡崎茂邦（教育指導監（生徒指導推進室長））

日程は日程調整中です。

波佐間清（教育長）

他にどなたかございますか。

（ありません）

波佐間清（教育長）

はい。それでは、この議案48号について承認としてよろしいですか。

（はい）

波佐間清（教育長）

はい。ありがとうございます。それでは、承認といたします。

【報告事項】

平成27年度子ども文化パスポート事業について

波佐間清（教育長）

続きまして日程2報告事項に入りたいと思います。最初に「平成27年度子ども文化パスポート事業について」、教育政策課、お願いいたします。

三好洋一（教育政策課長）

教育政策課です。よろしくお願いたします。それでは、平成27年度子ども文化パスポート事業についてご報告いたします。資料は6ページになります。

まず、1の事業趣旨・経緯でございますが、子どもたちが地域の文化・歴史・自然に接することにより、豊かな心を育むとともに親子のふれあう機会を増すことを目的として、文化施設をはじめとするさまざまな施設に、無料または一部割引で入場できるなど、施設で特典が受けられるパスポートを子どもたちに配布するものでございます。

平成17年度から関門連携の一環として北九州市と共同実施しており、今年度で11回目の実施となります。平成19年度からは長門市、平成24年度からは中間市や芦屋町など北九州都市圏域の市町で組織する北九州都市圏広域行政推進協議会が参加いたしまして、現在4団体での実施となっております。

事業概要でございますけれども、基本的には昨年と同じ内容となっております。対象エリア、対象者、及び配布方法については変更がございません。実施期間については7月18日土曜日から8月31日日曜日までの45日間となっております。対象施設については昨年度と同じく全64施設、内訳につきましては下関市が17施設、北九州市が43施設、長門市が4施設となっております。下関市内の施設について申し上げますと、今年度は長府博物館が新博物館開館準備のため6月1日より休館となっておりますので、1施設減の状況でございます。その他、他市の参加施設等につきましては、7ページから事業概要をお付けしております。8ページ、こちらをご参照いただければと思います。

次に、今年度の付帯イベントについてご説明いたします。本日はお手元に実際のパスポートをお配りしているかと思ひます。ご覧いただけますでしょうか。昨年度と同じくスタンプラリー形式で、各施設を周遊するという企画でございます。各施設をめぐりスタンプを押していくパズル形式となっております、イラストが浮かびあがってきます。その答えを、応募のハガキがついているかと思ひますが、こちらに答えを書いていただきまして、抽選で景品がプレゼントされるということとなっております。

最後に今後のスケジュールでございますけれども、7月初めに各学校等へのパスポートやリー

フレットの発送を予定しております。また、事業の周知、広報として、市報7月号に実施情報を掲載するとともに、報道機関への資料提供、また小中学校校長会において積極的にご活用をお願いしたいと考えております。報告は以上でございます。

波佐間清（教育長）

報告がございました。何かご意見・ご質問がありましたら。はい、どうぞ。

吉井克也（教育長職務代理者）

この事業は、本当に素晴らしい事業だと思っています。しかし、利用率は減少しておりもったいないことだと思っています。この夏休みには市内の子どもたちが、できれば親子でこの事業を活用していただきたいものです。時折駅で目にする下校中の高校生たちは、ひたすらスマホ（ラインやゲーム？）に夢中です。小学生や中学生も、時間があればゲームに熱中しているといった話をよく聞きます。まもなく夏休みを迎えますが、下関の子どもたちは、有意義に夏休みを過ごしていただきたい。そのためには、学校だけでなく保護者の方々にもこの事業の趣旨等を十分理解していただき協力していただくことが大切です。

家庭へのより積極的なPRを期待しています。

波佐間清（教育長）

今のPRは何か考えておられますか。

三好洋一（教育政策課長）

先ほどご報告にもございましたように、吉井委員のおっしゃられたように、保護者に積極的に行っていただくようお願いしたいのですが、直接行うことが叶いませんので、まずは校長会等で各学校に、「今回パスポートを配ったけれどもお父さんやお母さんをお願いして是非行ってください」というような呼びかけをお願いしたいと思います。以上です。

波佐間清（教育長）

しっかり校長会で言うていただいて、校長を通して各学校で子どもたち話が伝わるように、そして保護者会等も含めてしっかり宣伝をしていただいて、せっかくのこのパスポートが有効に使われるように皆さんの方でも協力をよろしくお願ひしたいと思います。

他にございませんでしょうか。よろしいですか。それでは、ないようですので次の報告にまいりたいと思います。

【報告事項】

下関市子ども市議会の実施について

波佐間清（教育長）

次は、「下関市子ども市議会の実施について」、学校教育課、お願いいたします。

澄川忠男（教育指導監（教育研修室長））

それでは、お手元の資料の12ページからご覧ください。下関市子ども市議会の実施についてご報告いたします。

事業概要、事業目的のところがございますが、この子ども市議会は市内の小学校6年生を対象として、小学校6年生が子ども市議会議員となり、市議会の本会議場を使って模擬の市議会を体験するというごことでございます。体験することによって議会の仕組み等のことも学ぶとともに、今年度合併10周年となりますが、下関市の将来についても子どもたち自身の目と耳とで考えて、そして聞いてもらうということをやろうと考えております。特に3年おきにやるということは決まっているわけではございませんが、平成21年、平成24年に続き今年度行うこととなります。

開催期日につきましては8月24日でございます。時間としては13時15分から16時30

分を予定しております。前回、教育委員にもご出席いただいておりますので、今年度も是非ご出席のご案内をしようと思っておりますので、よろしく願いいたします。

場所は市議会の本会議場です。

子ども市議会議員の数でございますが、市内には小学校が全部で51校ございます。この51校を10のブロックにわけ、各ブロック代表の35校から1名ずつ、計35名を子ども市議会議員としております。これは、市議会本会議場に座る席がありますので、その席より多く選んでしまうと、その子だけ座れないということになりますので、それが上限リミットと考えております。10ブロックはまた後ほどお伝えしますが、そこに10ブロックを書いてございます。

それから13ページをご覧ください。議会の次第でございますが、そこに書いてあるような次第で行います。

質問につきましては10グループありますが、10グループそれぞれのグループにつき2つの質問を考えてもらいます。ただし、東部ブロックというところが6名でございますので、そこだけは3つの質問ということで、全部で21の質問を考えてもらいます。質問をグループごとにさせていただき、それに対して執行部が答えるという本会議と全く同じような形式で行います。

それから、事前の説明会を明後日、6月25日に川中公民館でやる予定です。内容については、子ども市議会議員の委嘱、それから議長・副議長の選出、それから宣言班といいまして、子ども宣言というのを最後に別事項で行いますのでその宣言班の選出、それから各グループに集まってもらって、最初の顔合わせをやる予定でございます。顔合わせとともに、質問の順番を決めたり、質問の大まかなカテゴリーを決めたり、そういうこともやろうと思えます。その後、ブロック別の事前学習会を行います。これは、各学校や公民館等に、それぞれのグループごとに集まってもらって、具体的な質問を考えてもらうというようなことを考えております。7月中旬から下旬にかけて行います。

14ページでございます。大まかなスケジュールをそこに書いてございます。質問の提出締め切りが8月7日、答弁予定書の作成締め切りが8月17日ということ、それから市長レクチャーが19日、このように行います。

広報・報道についてですが、市報で紹介をいたします。ただし、これは一般の方の傍聴については不可といたします。と言いますのは、保護者の方、それから学校の教員等が傍聴に来ますので、一般の方が入れて保護者の方が入れないというようなことになっては困りますので、一般の方の傍聴は不可、ただしインターネット中継をいたしますので、インターネットではその様子はリアルタイムで眺めることができます。それから、今年度末まで、インターネットの配信をいたしますので、あとから見ることもできます。名前や顔も全部写りますので、これは保護者の方からすべて承諾はとっております。15ページでございますが、ブロックに分けた学校でございます。35名は決定をいたしました。報告は以上でございます。

波佐間清（教育長）

子ども市議会が8月24日に開催をされるようでございます。このことについて、ご意見、ご質問がございましたらお願いします。はい、どうぞ。

吉井克也（教育長職務代理者）

主旨からして本当に素晴らしいことだと思います。今年も楽しみにしておりますが、これに参加をする子どもたち、本当にいい勉強になるだろうと思えます。これに参加をしない代表者以外の小学生たちはどういうふうな形でこれを見るのでしょうか、できれば高学年、市内の5年生、6年生には全員しっかり見せたいなと思っておりますが、その辺りはどうでしょうか。

澄川忠男（教育指導監（教育研修室長））

当日の様子については議会事務局で録画をしてもらいます。その録画したものをDVDに焼き付けて、各学校に配布して議会の勉強のときに使っていただけたら、それから特に子どもたちが出た学校については、給食のときに流して全校で見るとかそういうことも考えております。

吉井克也（教育長職務代理者）

それが一番大事だろうと思っております。はい、わかりました。

波佐間清（教育長）

他に質問ございませんか。はい、どうぞ。

林俊作（教育委員）

教育委員は何か役割がありますか。

澄川忠男（教育指導監（教育研修室長））

執行部側に座っていただいて。基本的にはしっかり様子を見ていただくというふうに考えております。

林俊作（教育委員）

わかりました。

波佐間清（教育長）

教育委員に質問ということはないかもわかりませんが、もし、急遽、そういうことがありましたらお答えいただければと思います。藤井委員は初めてになります何かございますか。

藤井悦子（教育委員）

楽しみにしています。議場の雰囲気はとても緊張感があり、きっと子どもたちにとって良い経験になると思います。

波佐間清（教育長）

傍聴席が、子どもたちの親御さんや親戚がたくさんになってあふれてしまうのではないかとこの心配もしています。何かその辺りの制限はあるのですか。

澄川忠男（教育指導監（教育研修室長））

傍聴席は70席ございます。各家庭から来たとして35席、プラス学校の教員が10ブロックで10席、学校の先生が来て70席以上になった場合については、外側にモニターがありますので、モニターで見ていただくということは考えています。前半と後半で分かれますので、例えば前半で質問する子どもたちの保護者は前半に中に入っていていただいて、後半は外のモニターで見ていただく、後半は後半に質問する子どもたちの保護者に入っていていただく、人数にもよりますが、多くて一度に入りきれないときは、そういう対応を考えています。

波佐間清（教育長）

たぶん、両親、おじいちゃん、おばあちゃんも含めて、来たいという方は多いのではないのでしょうか。特に小学生ですから、その辺りの配慮もまた事前にしっかりやっていただければと思います。

野口裕子（教育委員）

傍聴席のことでふと思いましたが、新しい議場になって、傍聴席から議員側は見えないという話を聞いたことがあります。議場の中で子どもたちの顔は直接見えない、むしろ外のモニターで見た方が見えるということはありませんか。

澄川忠男（教育指導監（教育研修室長））

傍聴席に座ったら議員席は全く見えません。発言するときには、正面の大型モニターに顔が写りますので、それで見させていただきます。

野口裕子（教育委員）

議場の中にもモニターがあるのですね。

澄川忠男（教育指導監（教育研修室長））

はい。

波佐間清（教育長）

質問席のところはどうですか。見えますか。

澄川忠男（教育指導監（教育研修室長））

質問席のところは、立てば後ろ頭が見える程度です。

波佐間清（教育長）

議員さんたちが座っているところは見えません。

澄川忠男（教育指導監（教育研修室長））

この子ども市議会につきましては、6月25日の事前説明会から当日まで、テレビ市報「しものせき21」で番組作りをしております。9月13日に市報「しものせき21」で放映される予定です。KRYでございます。

波佐間清（教育長）

KRYで9月13日に放映される予定でありますので、取材がずっと続いているということです。よろしいでしょうか。

（はい）

波佐間清（教育長）

はい。それでは、報告済みといたします。

【報告事項】

下関市青少年補導委員の委嘱及び解嘱について

波佐間清（教育長）

続きまして、「下関市青少年補導委員の委嘱及び解職について」、生涯学習課、お願いいたします。

古西修一（生涯学習課長）

生涯学習課です。よろしく申し上げます。報告事項「下関市青少年補導委員の委嘱及び解職について」、ご説明いたします。資料の16ページになります。

本市は問題青少年の早期発見、早期保護等の活動をするため、下関市青少年補導委員を設置しております。

このたび、現在の委員の任期が27年5月31日をもって満了することから、17ページから23ページまでの名簿のとおり、6月1日付で新たに委員213名の委嘱を行ったものです。

任期は27年6月1日から29年5月31日までの2年間となります。

参考までに213名の内訳は、男性が173名、女性が40名、今回新たに委員になられた方は34名で、内訳は男性が33名、女性が1名、平均年齢は54歳。最高齢は男性が78歳、女性が75歳で、教職員を除く最年少は男性が28歳、女性が36歳となります。

また、このたび、補導委員退任の申し出がありましたので6月2日付で名陵校区の井上昌士補

導委員を解職しました。理由は「一身上の都合」ということであります。以上、報告いたします。

波佐間清（教育長）

ただいまご説明がありました。青少年補導委員の委嘱、解職であります。ご質問がありましたらお願いいたします。

（ありません）

波佐間清（教育長）

よろしいでしょうか。ないようですので、この件については報告済みといたします。

【報告事項】

世界スカウトジャンボリー下関市地域プログラムについて

波佐間清（教育長）

続きまして、「世界スカウトジャンボリー下関市地域プログラムについて」、生涯学習課、お願いいたします。

古西修一（生涯学習課長）

報告事項「世界スカウトジャンボリー下関市地域プログラムについて」ご報告いたします。

お手元のパンフレットをご覧ください。7月28日から8月8日にかけて、山口市阿知須きらら浜をメイン会場に「第23回世界スカウトジャンボリー」が開催されます。この世界スカウトジャンボリーは、4年に1度開かれるボーイスカウトの世界最大の祭典で、162の国と地域から約36,000人が集まり、世界の仲間と体験を共にします。日本では、昭和46年に静岡県で開催されて以来44年ぶり2回目の開催となりますが、環境・平和・科学・技術や、文化など日本ならではの様々なプログラムが実施されます。ジャンボリーは期間中、世界中から集まったボーイスカウトが、山口県内すべての市町を訪問し、産業施設や施設等の見学、体験活動、学校訪問などを通じて、児童生徒や地域住民と交流する今回のジャンボリー最大の特徴である地域プログラムを実施いたします。

資料の25ページをお願いします。本市では7月31日金曜日から、8月5日水曜日までの日曜日を除く5日間で、1日につきバス16台640人、総勢3,200人のスカウトを受け入れます。

次のページから交流日別に各会場での交流内容を記載しております。今回、学校関係者や地域の方々のご協力によりまして、各会場とも思考を凝らした魅力のあるプログラムを計画しております。この中で、27ページの右下段にありますが、これは国際交流ネットのご協力によりまして、8月1日土曜日午後から、海峡メッセで開催される市民との交流イベント、それから30ページの右の中段になりますが、これは吉井委員と波佐間教育長のご協力によりまして、8月5日水曜日午後から東行庵で開催されるお茶会、それから明治維新の講話などがメインプログラムになります。

本市の明日を担う子どもたちが、今回の地域プログラムに積極的に参加して、海外のスカウトと交流を深めることにより、世界を身近に感じ、国際理解の必要性を学ぶ良い機会になると思います。

なお、交流時間は、午前が10時から12時頃、それから午後が13時から15時30分ごろとなっておりますので、お時間が許せば見学をしていただければと思います。

以上、ご報告いたします。

波佐間清（教育長）

世界スカウトジャンボリーの主な行事を含めて、具体的な案が出てまいりました。これについて何かご質問がありましたらお願いをいたします。はい、どうぞ。

吉井克也（教育長職務代理）

私達もそのイベント等を見せていただいてもいいというお話がありましたが、例えば8月1日のどこそこに行ってみたいという時に、自由にその場に私達は行っても参観できるのでしょうか。それとも前もって生涯学習課に連絡をして行った方がいいのでしょうか。

古西修一（生涯学習課長）

各学校の学校訪問につきましては、生涯学習課にご連絡いただければ学校に連絡したいと思います。他の交流行事につきましては、海響館とか観覧料が要りますから、ご連絡いただければと思います。

波佐間清（教育長）

8月1日の民俗衣装ファッションショー、世界のドリンクカフェ等が海峡メッセであるということですので、こういうところは、例えば各々委員さんが行かれますということは、一応連絡しておいた方がいいでしょう。

古西修一（生涯学習課長）

事前にご連絡いただければいいと思います。

波佐間清（教育長）

興味があるところについては、もしご自分の時間等でここに行ってみようというところがありましたら、事前に生涯学習課にご連絡をお願いいたします。

林俊作（教育委員）

例えば、何々小学校とか書いてあるのは、何々小学校に外国人の方が来て、子どもたちと一緒に交流するというのでしょうか。

古西修一（生涯学習課長）

基本的にはバス1台に、日本から10名と残りの30名が参加国になります。年齢は14歳から17歳ということで、日本でいうと中学生から高校生になります。基本的には学校に訪問をして、受け入れ側で語学ボランティアもいますので、その通訳を通じながら、しっかり交流をするという形になります。午後からは海響館など施設を体験するということになります。

林俊作（教育委員）

外国人の方が3倍くらい、どこ行ってもそのような感じになるのですか。

古西修一（生涯学習課長）

3, 200名のうちの4分の3で、75%です。

林俊作（教育委員）

75%が外国人の方ということですか。

古西修一（生涯学習課長）

熱中症だけが心配です。南半球から来る子もいます。緊急の医療体制には万全を期して、各総合病院の方にはお願いしております。

波佐間清（教育長）

基本的には、午前中がそれぞれの学校でのイベント、午後がその近くの施設を見学したり体験したりというような活動であるということであります。よろしくお願いをしたいと思います。

林俊作（教育委員）

下関でなかなか外国人の方を見かけることはありませんので、楽しみです。

波佐間清（教育長）

交流都市、姉妹都市等の関係の報告がありますか。

古西修一（生涯学習課長）

具体的な3, 200人の内訳は、7月の中旬に決定されるそうです。それを受けてご報告したいと思います。今は姉妹都市のブラジル、アメリカ、韓国、中国、トルコ、イギリス、この5カ国を中心に、こちらに来ていただけないかという依頼をしております。

野口裕子（教育委員）

受け入れ側の学校の子どもたちはその日は登校するのですか。また学年が限定されているのでしょうか。

波佐間清（教育長）

その辺りはどうですか。

澄川忠男（教育指導監（教育研修室長））

学校は原則いろいろな子どもたちが関わるということですが、学校の事情により、ある学年のみであるとか、全校でというところもあります。そこを授業と同じ扱いにするかどうかは学校長の判断となります。その場合は、学校教育課に届出をしていただきます。授業日としてやるかどうか、その辺りはこちらのではすべては把握しておりません。

波佐間清（教育長）

はい、よろしいでしょうか。

林俊作（教育委員）

県内全体のプログラムは、また別にあるのですか。

古西修一（生涯学習課長）

県内のそういったプログラムを各市町作っていると思います。最初の説明会くらいで配られる可能性はあると思います。

波佐間清（教育長）

はい、よろしいでしょうか。それでは、世界スカウトジャンボリーの報告は以上で終わります。

【報告事項】

下関市生涯学習プラザの臨時休館について

波佐間清（教育長）

続きまして、「下関市生涯学習プラザの臨時休館について」、生涯学習課、お願いいたします。

古西修一（生涯学習課長）

報告事項「下関市生涯学習プラザの臨時休館について」ご説明いたします。

資料の31ページお願いします。平成27年9月25日金曜日に、中央図書館を含めた施設全体の消防設備の点検を実施するため、下関市生涯学習プラザについて臨時休館することとしました。

生涯学習プラザ及び中央図書館の維持管理は現在、指定管理者である公益財団法人下関市文化振興財団が行っております。このたび、指定管理者からの申し出により、消防法に基づく消防用設備の点検を実施する際、火災報知機及び、防火・防災シャッターの作動試験を伴うことから、万全な点検を実施するために、臨時休館が必要と判断したものです。

なお、臨時休館日を9月25日金曜日とした理由は、中央図書館が設置条例に基づく定例の休館日のため、生涯学習プラザのみ臨時休館とするよう調整したものです。

以上、ご報告いたします。

波佐間清（教育長）

9月25日が臨時休館ということでございます。ご質問ございますか。

（ありません）

波佐間清（教育長）

それでは、この件については報告済みといたします。

【報告事項】

中央図書館の開館時間の変更について

波佐間清（教育長）

続きまして、「中央図書館の開館時間の変更について」、図書館政策課、お願いいたします。

高原祐二（図書館政策課長）

中央図書館の開館時間の変更についてご報告いたします。

資料33ページでございます。市立図書館の設置等に関する条例第4条の規定に基づきまして、中央図書館について下記のとおり臨時に開館時間を変更いたします。

例年、毎年8月の海峡花火大会、馬関まつりの開催について変更するものでございます。

海峡花火大会8月13日木曜日、この日につきまして午前9時から午後5時で閉館。馬関まつりにつきましては、8月22日土曜日及び翌23日日曜日につきまして、同じく午前9時から午後5時に閉館ということでございます。

変更理由は、書いてありますとおり、交通規制の実施、あるいは非常に混雑して通常の図書館業務にかなり支障をきたすということで、このとおり変更させていただくものでございます。

以上で報告を終わります。

波佐間清（教育長）

8月13日と8月22、23日、花火大会と馬関まつりということでの変更の予定でございます。何かご質問ございますか。

（ありません）

波佐間清（教育長）

それでは報告済みといたします。

【報告事項】

「ボンジュール！フランスの絵本たち」展開催について

波佐間清（教育長）

次に「ボンジュール！フランスの絵本たち」ということで、美術館、お願いいたします。

中村美幸（美術館）

美術館でございます。7月9日から始まります特別展「ボンジュール！フランスの絵本たち」展の開催につきまして、ご報告させていただきます。

お手元の展覧会のチラシをご覧ください。今年度、美術館が開催いたします3本の特別展の1本目でございます。会期が7月9日から8月30日まで、夏休みの期間で開催されます。美術館ではこれまで、日本をはじめ、イギリス、アメリカ、ロシアの絵本をご紹介します展覧会を開催しておりますけれども、フランスの絵本をまとめてご紹介するのは、これが初めてでございます。

展示の中心となる、カストール文庫というのがありますが、これが20世紀の初頭に子どもの個性と自発性を持たそうという新しい教育運動がおこりますが、その中で絵本の重要性を認識してフランスのポール・フォシェという人がスタートさせた絵本のシリーズでございます。

物語の絵本だけではなくて、遊ぶ系譜の工作絵本などもありまして、こういったものを中心に原画やデッサン、冊子など約350点でフランス絵本の魅力をご紹介しますものでございます。

チラシの作品をご覧くださいますと、造形的なセンスの良さですとか、色彩の美しさなど、子どもたちの感性を刺激するものではないかと思っております。

また、大人にも楽しんでいただけたらと考えております。会期中、関連催事も色々予定しておりますので、広報に努めて多くの入場者を期待するところでございます。以上、ご報告いたします。

波佐間清（教育長）

何か質問がございますか。多くの方たちに、今回吉川顧問が美術館の館長になられての初めてのオープニングでございます。関心の高い方も多いと思っておりますので、教育委員の皆さんも然り、事務局の皆さん方も是非参加をしていただいて、多くの入場者が行くように、よろしく願いをいたします。以上で報告は終わります。

【その他】

波佐間清（教育長）

日程3その他の事項で何かございましたら、どうぞ。

吉井克也（教育長職務代理）

ご承知のように、最近下関で凶悪事件といえますか連発しました。そしてその中のひとつに、これはいわゆる凶悪事件とは少し違っているかもしれませんが、大藤園での園生虐待という大変深刻な重大な事件が起きました。私もショックを受けたわけでありまして。大藤園は福祉施設でありますので、教育委員会が監督をするということではありませんが、下関の人権教育という視点で考えた時に、教育委員会にも色々な意見が寄せられているのではないのでしょうか。またそういう意見の有る無しにかかわらず、私たちの問題として、あの事件を大きな下関の人権教育の問題であるというふうを受け止めていかなければいけないのかなということを感じて思っています。

お聞きしたいのは、意見が教育委員会にも寄せられているのかどうか、あればどんな意見があるかということと、下関市教育委員会として、あの事件を、特に大藤園での事件をどういうふうを受け止めているのかということについて聞きたいと思っております。

山路康正（教育部理事）

大藤園での事件については、本当にあってはならないことだというふうに思っております。

それから、人権教育に関しましては、山口県人権推進指針にも障害者に関する項目が取り上げられておりまして、しっかりこのあたりは子どもたちにも、そして教職員、それから社会教育におきましても一般市民等にしっかり啓発していく必要があるというふうに思っております。

現在のところ教育委員会に特に意見等は寄せられてはおりませんが、非常に重要な課題である

ととらえております。

また、特別支援学級、あるいは通常学級等においても、障害のある子どもたちが在籍しておりますので、こういった子どもたちがいじめ等によりそういったことになっていけません。当然教職員の指導においてこういうことはあってはなりませんので、それぞれまた校長会等を通じてそのあたりは徹底してまいろうと思っております。

6月5日に下関市の特別支援教育推進委員会が開催されました。その場において委員から、やがて今障害のある小・中学生が通う施設でこういうことがあったのは、非常に心を痛めていると、自分たちとしても何らかの動きはしたいと、そういう意見が出されました。

学校現場においてもそういうことがあってはなりませんし、市民の方々に人権教育、これは学校、当然社会教育相互で行うものでありますので、しっかりと啓発をしていきたいというふうに考えております。以上です。

吉井克也（教育長職務代理）

わかりました。近く市の人権推進審議会の会議が開催されます。おそらく話題になるだろうと思いますし、下関市教育委員会はそのことについてどう取り組んでいるのかとか、いろいろな質問も出てくるだろうと思っております。しっかり私も教育委員会の取り組みを踏まえながら、その会議に参加をしたいと思ってお尋ねいたしました。ありがとうございました。

波佐間清（教育長）

他にございませんか。

野口裕子（教育委員）

中学生の米国派遣研修団の件について知りたいことがございます。これは国際課が主催をしているものですが、ちょうど3年前から私の所属するボランティア団体の国際ソロプチミストがこれに支援金を差し上げるようになりました。今回どういう状況になっているのかということを知る範囲で教えていただけますか。

市の中学生を募集して、その中から8名ほどピッツバーグにホームステイに連れていくのですが、1名につき予算が30万円くらいかかるそうです。そのうち20万円を下関市が一人の子どもについて補助する、あと10万円がその子どもの自己負担というところですが、その10万円のうちの半分の5万円を、国際ソロプチミストが8名の子どもに5万円ずつ差し上げようということで、できるだけたくさんの中学生に手を挙げていただいて、8名の枠は広がらないのですが、是非底辺を広げていきたいと思っております。3年前から開始して一応5年間の事業として考えていますが今回で3年目になります。応募人数等が分かれば教えていただけたいと思います。

澄川忠男（教育指導監（教育研修室長））

それでは米国派遣についてご説明いたします。これはアメリカのカリフォルニア州にあるピッツバーグ市に派遣するものでございます。有名な鉄鋼の町ピッツバーグではなくて、とても小さな町でございます。そこでの交流でございます。

8月5日に下関市を出発いたしまして、帰ってくるのは8月11日です。向こうでは、ピッツバーグの市役所を訪問したり市議会を訪問したり、しかしなんとといってもメインはホームステイでございます。それぞれ向こうの家庭に入ってホームステイをするということで、行く人選に関しては、それぞれ個人の作文の選考、それから面接をしております。面接でも英語の面接をやっており、やはりある程度の英語力を持っていないと、向こうで生活ができないということで、その辺りも重視しております。

今回の応募につきましては、市内で36名が応募いたしました。内訳は、中学校2年生が13名、中学校3年生が23名で、男女の内訳は、男子が8名、女子が28名です。

応募のありました中学校は、市内22校中13校から応募がありました。つまり、1つの学校から多いところでは5名が応募しております。少ないところは、1名、13校からの36名の応募です。

決定いたしましたのがお手元にお配りした資料でございます。3年生、2年生も中に入っておりますし、男性が3名です。面接をいたしました、甲乙つけがたい、意欲にあふれ、アメリカで暮らしてみたいと言っておりました。ここに選ばれた8名については特に英語力もありますし、それから意欲もあり、作文でも自分が調べてみたいこと等もきちんと書いていた子どもたちでございます。以上です。

野口裕子（教育委員）

ありがとうございます。毎年、報告会というのを開催してくれて、私たちもそれに参加しておりますが、本当に日本に帰りたくなかったという感想を述べてくれました。

吉井克也（教育委員）

私も以前、団長として下関の中学生を引率したことがあります。数日間のホームステイを体験することにより、生徒たちは大きく成長したことを実感しました。ソロプチミストからのご支援も頂き益々充実した事業になっておりますが、今年も生徒たちがよい体験を沢山して帰ってくることを期待しています。

ところで、今年はピッツバーグからも子どもたちが下関に来られるということをお願いしています。下関でもホームステイを行うこととなりますが、このような双方向で国際交流が行われるということは、本当に素晴らしいことです。

野口裕子（教育委員）

そうですね。それは国際課の事業ですか。

澄川忠男（教育指導監（教育研修室長））

国際課で引き受けを考えておまして、何名かは正確にはわかりませんが、確かに子どもたちはまいます。受け入れ先は過去に向こうに行った子どもたちのご家庭に声をかけていらっしゃるようです。

野口裕子（教育委員）

時期的にはいつ頃でしょうか。

澄川忠男（教育指導監（教育研修室長））

たぶん9月くらいではなかったかと・・・。

波佐間清（教育長）

国際課では受け入れることをやってみたいという強い意欲を持っておられます。具体的なことがわかりましたら、また報告をしていただけたらと思います。

野口裕子（教育委員）

またお願いします。ありがとうございました。

波佐間清（教育長）

よろしいでしょうか。他にございませんか。先ほど吉井委員から大藤園のこともありましたが、つい最近、桜山小学校近くでの事案がまだ解決しておりません。あの体制について、学校安全課、報告をお願いします。

岡崎茂邦（教育指導監（生徒指導推進室長））

桜山の事案でございますが、夜中に連絡が警察から入ってまいりまして、真夜中ですのでどうしようかと思いましたが、情報は早くというふうに思いまして、きらめきネットで各学校に配信させていただきました。

特に、この事案は徒歩でということと、凶器がナイフとかそういうものではないということで、事案の起こった小学校3校に限らせていただいて、保護者の見守り登校をお願いしております。

事案が長引いております、情報の新たなものがございませんので、今週に入ってから、見守り、保護者の登校をできる限りの範囲でということをお願いして、見守りの強化で登下校を実施していただいているという状況でございます。

波佐間清（教育長）

ありがとうございます。まだ解決をしておりますが、警察と連携をとって、見守りながら、対応をしているということでもあります。ここ最近、このような事案が、長府でも、昨日でしたか、刃物で傷つけられたというような事案もまた起きてきておりました。物騒になっておりますが、子どもたちの安全・安心をまたよろしくお願いをしたいと思います。他に何かございませんか。

（ありません）

【閉会の宣告】

波佐間清（教育長）

ないようですので、7月の教育委員会の定例会は、7月29日水曜日、午前9時から午後3時まで、これは教科書選定もございますので、少し長時間になります。これは市役所新館会議室、先日行いました総合教育会議をやったあの会場でやる予定だというふうに聞いております。よろしくお願いをしたいと思います。

それでは、これで今日の定例会を終了いたします。お疲れでございました。

（お疲れさまでした）

署名

教育長

署名委員

署名委員

作成職員
